

J E N E S Y S 2 . 0**韓国中学生訪問団第1団****訪問日程 平成27年10月8日(木)～10月14日(水)****1. プログラム概要**

「JENESYS2.0」の一環として、韓国国立国際教育院で選抜、派遣された韓国中学生訪問団第1団計30名が、10月8日から10月14日までの6泊7日の日程でプログラムを行いました。

団長：吳榮録(オ・ヨンロク) 忠清北道教育庁 奨学士

訪問地：東京都、北海道

「日本を感じる」というテーマの下、滞在中、東京都内・北海道で、学校訪問や文化遺産及び企業見学を行ったほか、文化体験を通して、日本への理解を深めました。

2. 日程**10/8(木)**

到着(成田国際空港)

10/9(金)

北海道の魅力に関する講義、歓迎昼食会、お台場地区視察、北海道函館市へ移動

10/10(土)

日本文化体験(着物着付け)、函館市内視察(バイエリア地区、旧イギリス領事館、五稜郭、函館山など)

10/11(日)

鹿部町訪問(町概要、防災の取組みについての講義、鮭の遡上・間歇泉公園見学、地元鮭料理作り体験・地元の方との交流)、札幌市へ移動

10/12(月)

ショッピングモール訪問、札幌市内視察(大倉山ジャンプ台)、白い恋人パーク訪問(見学・菓子作り体験)

10/13(火)

札幌市内視察(北海道庁旧本庁舎)、札幌市立伏見中学校訪問(授業体験・交流会)、成果報告会

10/14(水)

札幌市内視察(札幌羊が丘展望台)、帰国(新千歳空港)

3. 写真

	
<p>(日本語) 10月9日 北海道の魅力に関する講義 (墨田区)</p>	<p>(日本語) 10月10日 文化体験 (着物) (函館市)</p>
<p>(母国語) 10월 9일 강의 테마 홋카이도의 매력에 대해서 (수미다구)</p>	<p>(母国語) 10월 10일 문화체험(기모노) (하코다테시)</p>
	
<p>(日本語) 10月10日 旧イギリス領事館見学 (函館市)</p>	<p>(日本語) 10月10日 函館山見学 (函館市)</p>
<p>(母国語) 10월 10일 구영국 영사관 견학 (하코다테시)</p>	<p>(母国語) 10월 10일 하코다테야마 견학 (하코다테시)</p>
	
<p>(日本語) 10月11日 鹿部町表敬訪問 防災に関する講義 (鹿部町)</p>	<p>(日本語) 10月11日 間歇泉公園見学 (鹿部町)</p>
<p>(母国語) 10월 11일 시카베초 예방 방</p>	<p>(母国語) 10월 11일 간헐천공원 견학(시</p>

<p>재에 관한 강의(시카베초)</p>	<p>카베초)</p>
	
<p>(日本語) 10月11日 料理体験交流 (鹿部町)</p>	<p>(日本語) 10月11日 料理体験交流 (鹿部町)</p>
<p>(母国語) 10월 11일 요리 체험 및 교류 (시카베초)</p>	<p>(母国語) 10월 11일 요리 체험 및 교류 (시카베초)</p>
	
<p>(日本語) 10月12日 企業訪問 白い恋人パーク見学、体験 (札幌市)</p>	<p>(日本語) 10月13日 北海道庁旧本庁舎見学 (札幌市)</p>
<p>(母国語) 10월 12일 기업방문 시로이 코이비토(하얀연인) 파크 견학 및 체험 (삿포로시)</p>	<p>(母国語) 10월 13일 호카이도청 구 본청사 견학(삿포로시)</p>
	
<p>(日本語) 10月13日 札幌市立伏見中学校訪問 (札幌市)</p>	<p>(日本語) 10月13日 札幌市立伏見中学校訪問 (札幌市)</p>

(母国語) 10 월 13 일 삿포로시립 후시미 중학교 방문(삿포로시)	母国語) 10 월 13 일 삿포로시립 후시미 중학교 방문(삿포로시)
	
(日本語) 10 月 13 日 札幌市立伏見中学校 訪問 (札幌市)	(日本語) 10 月 14 日 札幌羊が丘展望台訪 問 (札幌市)
(母国語) 10 월 13 일 삿포로시립 후시미 중학교 방문(삿포로시)	(母国語) 10 월 14 일 삿포로 히쓰지가오 카 전망대 방문(삿포로시)

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○防災について

- ・韓国では地震や津波を経験することがあまりないため、学校で学んだ漠然とした知識しか持っていなかった。今回火山防災について説明を聞き、防災施設を見学できて良い経験だった。
- ・迅速で正確な災害対策システムや、鮭の産卵場のような自然を大切にする姿勢は、素敵で学ぶべき部分だと思った。
- ・韓国も建物に対する地震対策を一つでも取り入れて建設することが必要なのではないかと感じた。備えがあれば、万が一地震になったときに被害を防げると思う。また、常に「もしも」という言葉を思い出す必要があることも学んだ。

○学校訪問に関して

- ・日本の学生たちの秩序ある姿と清潔な生活習慣がとても印象的だった。
- ・吹奏楽部の演奏を聴いたときに、これが本当に学生たちの実力なのか?と疑ってしまうほどレベルが高くて驚いた。
- ・言葉は通じなかったが、笑いながら会話をしたことがとても楽しかった。
- ・韓国とは異なる学校施設、異なる科目に触れたことが新鮮だった。

○伝統、文化に関して

- ・着物を着て日本式の食事をしながら、関心がなかった日本文化についてひとつずつ知ることができた。
- ・日本文化を通じて、自分たちに足りない部分は反省して学び、新しい部分は肯定的な態度で受け入れる姿勢を育てることができた。
- ・韓国では日本のオタクのイメージはネガティブで良くないものと思っていたが、普通の一般人と変わりが

なかった。こういった部分を韓国に伝えたい。

○日本、日本人について

- ・とても親切で礼儀正しく、人に迷惑をかけることを嫌がる。
- ・都市はきれいでゴミひとつ落ちていなくて、みるところも多い。
- ・私たちのために一生懸命韓国語で話してくれる姿に感動した。
- ・韓国はたくさん仕事をするという点で勤勉だが、日本はまた違った勤勉さを持っている。
(几帳面で細やか、正確で失敗しない。早起きで早めに出勤するなど) その点は見習うべきだと思った。
- ・日本に対し否定的に思っていたが、訪問後はその思いが変わった。今回の訪問を通して日本ともっと近づきたいと思うようになった。
- ・日本語ができないため英語で緊張しながら道を尋ねたときに、一緒に道を探してくれるなど、とても親切に教えてくれたのが印象的だった。
- ・大学生になったら、絶対に日本に留学しようと心に決めた。
- ・「日本人はゆったりとしている」という印象を受けた。「早い」ことを優先し基本的なマナーを後回しにする韓国とは違い、基本のマナーを守りながら行動する日本人たちを見て、こういった点は見習わなければと思った。

○その他

- ・日本と韓国の文化の違いを知れば知るほど日本に興味を持った。
- ・日本語ができず残念な思いをしたので、これから日本語を勉強し高校生になったらまた訪問団に参加したい。今回の研修は私にたくさんの影響を与え、将来をさらに深く考えるよい機会となった。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・日本を意味もなく排除したり嫌ったりする人たちに、必ず今回の研修の話を聞かせたい。
そうすれば、考えが変わると思う。
- ・帰国したら周囲の人たちに、日本滞在中は、ものすごく歓迎され幸せだったと自慢したい。
- ・とても良いプログラムなので、もっと多くの学生に知ってもらいたい。
- ・周囲の友達や先生が日本を否定的にとらえることがあったら、今回の自分の経験を話し、肯定的な考えに変わるよう手助けしたい。
- ・日本人の秩序ある行動と互いを思いやる姿を周りに教えてあげたい。